

★安全安心の学校方向性ニュース(生徒のみなさん・保護者のみなさまへ)

●修学旅行に関して

3年生は、9月16日(水)・17日(木)・18日(金)の3日間、長野方面へ修学旅行に行きます。

しおりも完成し、学年の中では着々とその準備が進められています。

さて、この行事における最重要課題はというと、当然、「安全管理」です。事故なく怪我なく病気なく、無事に「全員で河内長野に帰ってくる」ことがすべての最優先事項です。ただ、安全に行き帰ってきたとしても、参加者の心に何も残らなければ、成功したとはいえません。心に残る思い出をつくれるように頑張っていきましょう。たとえば、**1つ目は、人とのふれあい**。友だち・先生・その他現地で知り合うであろうさまざまな人々との出会いを大切にしてください。**2つ目は自然とのふれあい**。長野県といえば、日本アルプスをはじめ雄大な自然が楽しめます。ラフティングでは川の速い流れのスリルを肌で味わいながら、同時に美しい景色を間近で味わってください。**3つ目は歴史とのふれあい**。明治村には歴史的な街並みが移築されています。文明開化の街並みを味わってください。また、松代大本営は、知る人ぞ知る歴史の舞台です。「平和」について考える機会にしてください。**4つ目は自ら体験すること**。リンゴはそのまま食べてもおいしいですが、加工するとまた違った味わいが。自分で焼いたアップルパイはきっとおいしいでしょう。**5つ目は団結力**。個人の旅行では味わえない、仲間と作り出す旅行の良さをじっくりと楽しんでください。

安全について・・・今回は、コロナの状況と台風の状況を一番気にしています。コロナ対策として、バスなども2倍の数で対応していますが、各ご家庭でも体調管理をよろしくお願いします。

●週末から当日の朝までに発熱等の風邪の症状があった場合は、残念ながら出発を見合わせて下さい。

●現地では、3密対策等自らも心掛けて行動して下さい。

●たとえば、トイレ休憩の際にもマスクは着用し、トイレが終われば、速やかにバスに戻るなどの協力をして下さい。

●バスや部屋や大浴室では、大声ではしゃぎたいところですが、少し控えめにお願いします。

●修学旅行などでは、コロナと関係なくとも発熱する人も多く出ます。そうなるを見分けが付きに

くいので、出発前も現地でも早寝などの習慣を大切にしてください。

※現地でもしコロナ症状が出たら…

すでに、現地保健所には修学旅行で訪れることの連絡を入れてあります。
現地での対応について協力をお願いし、アドバイスもいただきました。

もし現地で、コロナ症状が出たら、

1日目は松本市の保健所。二日目は大町市の保健所に連絡を取り、その指示を仰ぎます。

(松本保健所 0263-47-7800 大町保健所 0261-22-5111)

PCR検査等検査待ち・PCR検査などの間は、入院、もしくは、ホテル待機となります。保健所にはできる限り入院させていただきたいとお願いしています。

体調不良の生徒一人を現地に残すわけには行けませんので、本隊が帰阪したときでも、保護者の方が到着するまでの期間は、教頭が現地に残り対応にあたります。

※台風対策…

今後、修学旅行中に台風が影響するような状況がうまれましたら、急遽、予備日(10月末)への延期の可能性もあります。ご理解ください。

★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

●読む力の育成

春から頑張ってきている読書。学級によっては生徒によるおすすめ本を図書室で借りてきて、教室においてくれているという嬉しい情報もあります。

そして、今回の調査で分かった、4月からここまでに読んだ冊数のチャンピオンは、1年生のある女子で、**なんと55冊**。想像を絶するペースです。みんなで追いつけ追い越せで頑張りましょう。

★「魔法のジュータンに乗って」新シリーズ登場

私が初めて飛行機に乗ったのは、23歳を超えて初めて教師になった年でした。仕事の関係で大阪から東京の往復をしました。

初めて海外旅行にいったのは、新婚旅行でヨーロッパに行ったとき、ヨーロッパのオーストリア(ウィーン)・ドイツ(ロマンチック街道)・フランス(パリ)でした。

あとそれ以外は、ほぼどこにも行った経験がなかった私が、平成7年からいきなりの海外暮らし。3年間。どうにか過ごしました。

私の赴任先は、アラブ首長国連邦アブダビでした。年間のほぼすべてが30度を超える気温で、一番暑い月は45度まで上がりました。

そのため外務省が不健康地と認定しており、避暑のために海外旅行が認められていました。

私が海外旅行に行ったのは大半がその機会であり、平成10年に帰国してからは数えるほどしか行っていません。

ということで、今回の企画である「魔法のジュータンにのって」は、平成7年からの3年間の旅行の中で、普通のツアーにないような、ちょっと変わったものをご紹介します。